

令和3・4年度胎内市建設工事入札参加資格審査申請要領
(随時申請)

令和4年6月7日
胎内市

令和4年度において、胎内市が行う建設工事の一般競争入札、指名競争入札及び随意契約の協議（以下「競争入札等」といいます。）に参加しようとする方は、胎内市建設工事入札参加資格審査規程（平成17年告示第10号）及びこの要領に定めるところにより、競争入札等に参加する者に必要な資格（以下「参加資格」といいます。）の申請をして資格審査を受け、参加有資格者となる必要があります。

なお、この随時申請については、コロナ禍における売上確保のために業種追加等を行う事業者への対応として、今年度、市内業者（胎内市内に本社（本店）が所在する事業者）に限り行うものです。

【目次】

I 申請方法

1. 参加資格の種類（建設工事の種類）	2
2. 資格審査申請をすることができる方	2
3. 令和3・4年度の入札参加資格の格付けについて	3
4. 技術職員数の補正について	4
5. 参加資格の有効期間	4
6. 申請書類の作成基準日	4
7. 提出部数	5
8. 提出期間	5
9. 提出方法	5
10. 提出先	5
11. 申請書及び添付書類	6
12. 提出書類等の作成について	9
13. その他	9

II 記入方法

1. 建設工事入札参加資格審査申請書【様式第1号】	11
2. 営業所（主たる営業所を除く）一覧表【様式第2号】	13
3. 使用印鑑届出書【様式第3号】	14
4. 指定工事の施工実績に関する書類【様式第4号】	14
5. 技術職員名簿【様式第5号】	15
6. 委任状	16
7. 暴力団等の排除に関する誓約書	16
8. 技術職員数等に関する書類	16
9. 技術職員数一覧	17
別表 業種区分コード表	19

I 申請方法

1. 参加資格の種類（建設工事の種類）

以下の 29 種類です。それぞれの種類ごとに資格審査の受付けをします。

- | | | |
|--------------------|--------------|------------|
| 1) 土木一式工事 | 11) 鋼構造物工事 | 21) 熱絶縁工事 |
| 2) 建築一式工事 | 12) 鉄筋工事 | 22) 電気通信工事 |
| 3) 大工工事 | 13) 舗装工事 | 23) 造園工事 |
| 4) 左官工事 | 14) しゅんせつ工事 | 24) さく井工事 |
| 5) とび・土工・コンクリート工事 | 15) 板金工事 | 25) 建具工事 |
| 6) 石工事 | 16) ガラス工事 | 26) 水道施設工事 |
| 7) 屋根工事 | 17) 塗装工事 | 27) 消防施設工事 |
| 8) 電気工事 | 18) 防水工事 | 28) 清掃施設工事 |
| 9) 管工事 | 19) 内装仕上工事 | 29) 解体工事 |
| 10) タイル・れんが・ブロック工事 | 20) 機械器具設置工事 | |

2. 資格審査申請をすることができる方

資格審査申請ができるのは、次に掲げる事項のいずれにも該当しない方です。

- (1) 建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）第 3 条第 1 項の規定により建設業の許可（工種は問いません。）を受け、その建設業の許可を受けて営業した期間が 1 年に満たない方。
- (2) 資格審査を申請しようとする建設工事について、建設業法第 27 条の 23 第 1 項に規定する経営に関する客観的事項の審査（以下「経営事項審査」といいます。）を受けていない方。
- (3) 資格審査を申請しようとする建設工事について、建設業法第 27 条の 29 第 1 項の規定による総合評定値の通知を受けていない方。
- (4) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4（同令第 167 条の 11 第 1 項において準用する場合も含みます。）第 2 項各号のいずれかに該当する方で、その事実があった後 3 年以内であって市長が定める期間を経過しない方。
また、その方を代理人、支配人その他の使用人又は入札代理人として使用する方についても同様とします。
- (5) 資格審査を申請しようとする建設工事について、経営事項審査の申請をする日の属する事業年度の開始の日の直前 3 年の各事業年度のいずれの事業年度にも完成工事高を有しない方。
- (6) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいいます。以下同じです。）又は暴力団員（同法第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいいます。以下同じです。）が経営に実質的に関与していると認められる方。
- (7) 自己若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用していると認められる方。
- (8) 暴力団員であると認められる方。
- (9) 暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持又は運営に協力し、又は関与していると認められる方。
- (10) 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有すると認められる方。

- (11) 法人であって、その役員（その支店又は営業所の代表者を含む。下記（12）において同じ。）が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用していると認められる方。
- (12) 法人であって、その役員のうちに上記（8）から（10）までのいずれかに該当する方があるもの。
- (13) 次のアからウまでに掲げる届出のいずれかを行っていない方（当該届出を行うことを要しない方を除く。）
- ア 雇用保険法（昭和49年法律第116号）第7条の規定による届出
 - イ 健康保険法（大正11年法律第70号）第48条の規定による届出
 - ウ 厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第27条の規定による届出
- (14) 胎内市の市税、法人税又は所得税並びに消費税及び地方消費税のいずれかについて、滞納がある方。

3. 令和3・4年度の入札参加資格の格付けについて

「土木一式」「建築一式」「電気」「管」について、入札参加資格申請における総合評定値通知書の総合評定値及び技術者数に基づき、以下のとおり「A」「B」の等級に格付けを行います。

ただし、「4. 技術職員数の補正について」の要件を満たす市内業者（胎内市内に本社（本店）が所在する事業者）は、所定の書類を提出し、その内容が適当と認められた場合に、補正後の技術職員数に基づき格付けを行うこととします。

なお、有効期間内の格付け変更は行いません。

工種	等級	条件
土木一式	A	次の(1)(2)をいずれも満たしていること。 (1)総合評定値が800点以上 (2)一級技術職員が1人以上で、かつ、一級二級合わせた技術職員数が3人以上
	B	Aランク以外
建築一式	A	次の(1)(2)をいずれも満たしていること。 (1)総合評定値が650点以上 (2)一級技術職員が1人以上で、かつ、一級二級合わせた技術職員数が2人以上
	B	Aランク以外
電気	A	次の(1)(2)をいずれも満たしていること。 (1)総合評定値が700点以上 (2)一級技術職員が1人以上で、かつ、一級二級合わせた技術職員数が2人以上
	B	Aランク以外
管	A	次の(1)(2)をいずれも満たしていること。 (1)総合評定値が650点以上 (2)一級技術職員が1人以上で、かつ、一級二級合わせた技術職員数が2人以上
	B	Aランク以外

4. 技術職員数の補正について

(1) 次のアからエのすべてを満たしている場合、技術職員数の補正を行うことができます。

ア 市内業者（胎内市内に本社（本店）が所在する事業者）

イ 「土木一式」「建築一式」「電気」「管」のいずれかに申請する方

ウ 経営事項審査の審査基準日現在の技術職員数が、総合評定値通知書に記載の技術職員数と異なる場合（経営事項審査での技術職員の資格要件の重複が2業種までであることにより、総合評定値通知書に記載の1、2級技術職員数との差異が生じる場合、又は、審査基準日現在に常時雇用されている職員で、雇用期間が審査基準日前6か月を超えていなかったため、経営事項審査の「技術職員名簿」に記載できなかった職員がいる場合）

エ 技術職員数の補正を希望する場合

(2) 提出書類

以下の申請区分により提出書類が異なりますので、提出の際はご注意ください。

	申請区分	参照ページ
①	令和3・4年度の胎内市の建設工事入札参加資格を有しない方が、今回新規申請をする場合	P 6 「11. 申請書及び添付書類」の新規申請の欄
②	令和3・4年度の胎内市の建設工事入札参加資格を有している方が、 <u>既に参加資格が認められている業種以外</u> を追加申請する場合	P 6 「11. 申請書及び添付書類」の追加申請の欄

(3) その他

登録済み業種の技術職員数の補正は行いません。(令和4年2月の追加申請時のみの特例措置であるため。)

5. 参加資格の有効期間

参加資格が認められた日から令和5年4月30日まで

6. 申請書類の作成基準日

特に指定していない限り、資格審査の申請を行う日（以下「作成基準日」といいます。）現在の状況で作成してください。

ただし、作成基準日以降に変更があった場合は、その変更後の内容で作成してください。

7. 提出部数

1部

【申請書類の綴り方について】

申請書及び添付書類は、「11. 申請書及び添付書類」、「12. 参加資格の追加申請（業種追加）をする場合」又は「13. 登録済みの業種において技術職員の補正を行う場合（市内業者のみ）」の項番順にホチキス綴じにしてください。

ホチキス綴じができない場合は、紙紐で綴じ提出してください。（紙以外の紐は使用しないでください。）

申請書上部に2箇所ホチキス止めをしてください。
ホチキス止めができない場合、2箇所穴開けをし、
紙紐で綴り提出してください。

様式第1号(第3条関係)		建設工事入札参加資格審査申請書	
年度において、胎内市で行う建設工事に係る入札に参加する資格の審査を申請します。		年 月 日	
なお、この申請書及び添付書類の内容については、事実と相違ないことを誓約します。 (あて先)胎内市長			
申請区分	業者番号	申請者 〔法人の場合は、商号又は 名称及び代表者の職氏名〕	(実印)

※受領書が必要な方は、受付印を押印しますので、申請書類の控え等をお持ちください。

（郵送の場合は、受領印を押印のための申請書類の控え等と切手を貼った返信用封筒を同封してください。）

8. 提出期間

令和5年2月28日まで（随時受付）

各日 午前9時00分から午後5時00分まで

（胎内市の休日を定める条例(平成17年条例第2号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。）

なお、資格審査は次のとおり行う予定です。

申請受付	資格審査
令和4年6月	令和4年7月
令和4年7月から令和4年8月	令和4年9月
令和4年9月から令和4年11月	令和4年12月
令和4年12月から令和5年2月	令和5年3月

9. 提出方法

持参、郵送又は宅配便とします。

（郵送又は宅配便の場合は、令和5年2月28日必着分までとします。）

10. 提出先

胎内市役所 財政課 契約検査係

〒959-2693 新潟県胎内市新和町2番10号

電話：0254-43-6111（内線1341）

11. 申請書及び添付書類

- ◎ 提出必須（記入すべき事項がない場合でも白紙のまま提出してください。）
- △ 該当する場合は提出してください。
- × 提出不要

※1 「新規申請」：令和3・4年度の胎内市の建設工事入札参加資格を有しない事業者が、今回新規申請をする場合

※2 「追加申請」：令和3・4年度の胎内市の建設工事入札参加資格を有している事業者が、既に参加資格が認められている業種以外を追加申請する場合

申請書及び添付書類	新規 申請 ※1	追加 申請 ※2
<p>① 建設工事入札参加資格審査申請書【様式第1号】</p> <p>※申請者は、主たる営業所名義で作成してください。</p> <p>※追加申請の場合、「入札参加を希望する建設工事の種類」の欄には、追加申請する建設工事の種類のみを記入してください。</p>	◎	◎
<p>② 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（以下「総合評定値通知書」といいます。）の写し</p> <p>※申請をしようとする日の1年7か月以内の最新かつ有効な通知書の写しを提出してください。</p> <p>※当該通知書で雇用保険、健康保険又は厚生年金保険の加入状況の<u>いずれかが「無（未加入）」となっていない場合は、⑩及び⑪の提出は不要です。</u></p> <p>※資格審査を申請しようとする業種について、総合評定値通知書では、過去3年間の完成工事高を有していることが確認できない場合、建設業法第11条第2項の規定に基づき変更届に添付した様式第3号の写し等又は完成工事高を有する事業年度の経営事項審査の申請書の控え（いずれも収受印があるものに限る）を「②総合評定値通知書の写し」の次に添付してください。（過去3年に完成工事高がない場合は登録できません）</p>	◎	◎
<p>③ 営業所（主たる営業所を除く）一覧表【様式第2号】</p> <p>※主たる営業所以外の営業所がない場合は、空白箇所に「該当なし」と記入し提出してください。</p>	◎	×
<p>④ 使用印鑑届出書【様式第3号】</p> <p>※主たる営業所が登録している印鑑（以下「実印」といいます。）以外を使用する場合のみ提出してください。</p> <p>委任先が使用する印鑑をこの様式で届け出る必要はありません。（委任先が使用する印鑑は委任状に押印してください。）</p>	△	△

<p>⑤ 指定工事の施工実績に関する書類【様式第4号】</p> <p>※施工実績を記入した方は、当該実績に係る CORINS の登録内容確認書（CORINS の登録内容確認書では施工内容が確認し難い場合又は CORINS に未登録の場合は、施工内容が分かる契約書、図面など）の写しを、記入した工種区分ごとに1件以上提出してください。（ただし、胎内市が発注した案件については、実績書類の添付を省略することができます。）添付するカルテ等の書類には、どの工種に関するものなのかわかるように付箋・インデックス等を付け「⑤指定工事の施工実績に関する書類【様式第4号】」の次に添付してください。</p>	◎	◎
<p>⑥ 技術職員名簿【様式第5号】</p>	◎	◎
<p>⑦ 暴力団等の排除に関する誓約書</p>	◎	×
<p>⑧ 建設業許可申請書別紙2の写し</p> <p>※契約締結権限等（入札・見積・契約等）を支店又は営業所等（以下「従たる営業所」といいます。）に委任する方は、提出してください。</p>	△	△
<p>⑨ 営業所における専任技術者に関する書類</p> <p>建設業法許可の申請・変更等の届出時に提出している「専任技術者証明書（様式第8号（1）又は（2））」又は「専任技術者一覧表（様式第1号別紙4）」の写しをしてください。</p>	◎	◎
<p>⑩ 雇用保険、健康保険又は厚生年金保険の加入の届出を行ったことを確認することができる書類の写し</p> <p>※②総合評定値通知書の写しにおいて、社会保険等の加入等が確認できず（「無（未加入）」となっている場合）、その後に加した者のみ提出してください。</p> <p>「無（未加入）」の状態では、資格審査申請を行うことができません。当該書類により未加入でなくなったことが確認できた場合に限り、申請を行うことができます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>健康保険・厚生年金保険が（加入）となった場合は、次のいずれかを提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 申請時の直近1ヶ月分の領収証書の写し ● 標準報酬決定通知書の写し ● 被保険者資格取得確認及び標準報酬決定通知書の写し ● 健康保険・厚生年金保険新規適用届（年金事務所の受領印のあるもの）の事業主控えの写し </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>雇用保険が「加入」となった場合は、次の書類のいずれかを提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 申請時の直前の労働保険概算・確定保険料申告書の写し ● 雇用保険被保険者資格取得等確認通知書（事業主通知用）の写し ● 雇用保険適用事業所設置届（ハローワークの受領印のあるもの）の事業主控えの写し </div>	△	×

<p>⑪ 適用除外申告書</p> <p>※②総合評定値通知書の写しにおいて、社会保険等の加入等が確認できず（「無（未加入）」となっている場合）、その後に適用除外となった者のみ提出してください。</p> <p>当該書類に適用除外となったことを証する書類を添付してください。</p> <p>当該書類により未加入でなくなったことが確認できた場合に限り、申請を行うことができます。</p>	△	×
<p>⑫ 胎内市の納税証明書</p> <p>（未納税額のない証明用） ※胎内市税務課発行</p> <p>※証明年月日が申請書提出日以前3か月以内のもののみ有効（写し可）。</p> <p>納税義務の有無にかかわらず提出してください。</p>	◎	◎
<p>⑬ 法人税又は所得税の納税証明書</p> <p>（未納税額のない証明用） ※税務署発行</p> <p>※証明年月日が申請書提出日以前3か月以内のもののみ有効（写し可）。</p> <p>免税事業者の場合であっても、必ず提出してください。</p> <p>【法人の場合】納税証明書「その3の3」</p> <p>【個人の場合】納税証明書「その3の2」</p>	◎	◎
<p>⑭ 消費税及び地方消費税の納税証明書</p> <p>（未納税額のない証明用） ※税務署発行</p> <p>※証明年月日が申請書提出日以前3か月以内のもののみ有効（写し可）。</p> <p>免税事業者の場合であっても、必ず提出してください。</p> <p>【法人の場合】納税証明書「その3の3」</p> <p>【個人の場合】納税証明書「その3の2」</p>	◎	◎
<p>⑮ 添付書類</p> <p>※主なものとしては防災協定、建退共加入証明</p>	△	×
<p>⑯ 委任状</p> <p>※従たる営業所等に契約締結等の権限を委任する場合に提出してください。参考様式を示しますので委任事項を加除修正の上、使用してください。</p>	△	△
<p>⑰ 技術職員数等に関する書類</p> <p>※「土木一式」「建築一式」「電気」「管」いずれかの工種について、登録を希望する場合に提出してください。</p>	△	△
<p>⑱ 技術職員数一覧（技術職員数の補正を希望する場合のみ）</p> <p>※技術職員数一覧に記載した工種ごとの職員の資格者証等の写しを添付すること。</p>	△	△

12. 提出書類等の作成について

申請書類の作成にあたっては、次の点に留意してください。

- (1) 申請者は、主たる営業所（俗にいう、本社・本店）で作成してください。したがって、申請者は、主たる営業所の代表者となります。必ず代表者の実印※を申請書に押印してください。※代表者の実印とは、主たる営業所が登録している印鑑です。
- (2) 複数の業種（建設工事、建設コンサルタント等業務、物品・役務等）の申請を行う場合は、申請業種ごとに申請書を作成し、それぞれ審査を受けてください。
- (3) 透明性を確保するため、申請に伴い作成された書類のうち、当該法人・個人及び団体の権利や競争上の地位等を害するおそれがないと判断したものについては、当該書類は情報開示の対象となりますので、ご承知ください。

13. その他

上記のほか、次の点に留意してください。

(1) 申請書の受領について

申請書の受領書又は受付印が必要な場合は、返信用封筒又は返信用はがきを同封してください。受付印を押印した受領書等を返送します。持参の場合は、その場で受領書に受付印を押印しお渡しします。なお、この受付印は、「申請要領に従って作成された適正な申請書を受領した」ということを表すものではありません。「内容が正しいかどうかを問わず単に受領した」ことを表すものです。

(2) 資格審査について

ア 建設工事の種類ごとに参加資格の審査を行います。 イ 入札参加資格者名簿への登載は、経営事項審査の結果及び総合評定値（最新かつ有効なもの）により行います。なお、有効期間内は格付を変更しません。

(3) 資格審査結果について

提出書類を基に参加資格の審査を行います。参加資格を有すると認められた方については、入札参加資格者名簿に登載し、市ホームページ及び本庁舎3階の設計図書閲覧所で公開します。個々に資格審査結果を通知することは予定していませんのでご了承ください。

(4) 参加資格の承継について

営業若しくは事業の譲渡、合併、分割又は相続のあった方からの申請によって参加資格者の営業又は事業を承継したと認められるときは、その参加資格を承継することができます。参加資格を承継しようとする方は、承継申請書（様式第6号）に必要な書類を添えて提出してください。

(5) 変更届出書の提出について

申請書を提出した後に次に掲げる事項に変更があった場合は、変更届出書（様式第7号）に必要な書類を添えて、速やかに提出してください。

なお、現に当市と契約を締結している方で、必要な添付書類の完成を待っていると契約金額の請求・受領や入札の参加等に支障をきたすおそれのある方は、取り急ぎ添付書類以外を提出してください。

- ①商号又は名称
- ②営業所の名称、所在地、郵便番号及び電話番号等
（主たる営業所、新潟県内の営業所及び委任先に指定されている営業所に限る。）
- ③代表者の職氏名（法人）
- ④代理人の職氏名
- ⑤使用する印鑑
- ⑥建設業許可区分及び許可番号
- ⑦営業所専任技術者

(6) 廃業等届出書の提出について

申請書を提出した後に次に掲げる事項に該当することになった場合は、廃業等届出書（様式第9号）を、速やかに提出してください。

- ①入札参加資格者が死亡したとき
- ②法人が合併その他の事由により解散したとき
- ③許可を受けた建設業を廃止したとき
- ④参加資格を辞退しようとするとき

(7) 技術職員名簿の変更届出について

市内業者で、申請書等を提出した後に、技術職員名簿【様式第5号】に記載された技術職員に変更（技術職員の削除又は追加、資格等の変更）があった場合は、技術職員名簿の変更届出書【様式第8号】を提出してください。

(8) 胎内市との防災協定の締結の有無について

当市と防災協定を締結していること又は締結している団体に加盟していることを、市内業者で競争入札する場合の参加条件としています。

この防災協定は、個々の事業者でも締結可能です。協定の内容や締結方法等の詳細は、総務課防災対策係にお問い合わせください。

(9) 胎内市の消防団協力事業所の認定の有無について

当市が消防団協力事業所として認定していることを、市内業者で競争入札する場合の参加条件としています。

認定要件や申請方法等の詳細は、総務課防災対策係にお問い合わせください。

II 記入方法

1. 建設工事入札参加資格審査申請書【様式第1号】

申請者は、主たる営業所（俗にいう、本社・本店）を記入してください。したがって、申請者は、主たる営業所の代表者となります。必ず代表者の実印を申請書に押印してください。

(1) 「申請区分」の欄

次の区分に従って、該当する記号を選択（記入）してください。

申請の区分	申請の内容	記号
新規申請	令和3・4年度の胎内市の建設工事入札参加資格を有しない方が、今回新規申請をする場合	新規
追加申請	令和3・4年度の胎内市の建設工事入札参加資格を有している方が、既に認められている参加資格以外の業種について参加資格を申請する場合	追加

(2) 「業者番号」の欄

新規申請の場合…空欄

※ただし、新規申請であっても他の業種（建設コンサルタント等又は物品役務等）で業者番号を有している場合はその番号を記入してください。

追加申請の場合…令和3・4年度の胎内市の建設工事入札参加資格者名簿に登載されている業者番号を記入してください。

（以下同じです。）

(3) 「経営事項審査申請時の建設業許可番号」の欄

建設工事入札参加審査申請書に添付する総合評定値通知書（写し）に表示されている建設業許可番号を記入してください。「許可番号」欄は、右詰めで記入してください。

(4) 「前回資格申請時の建設業許可番号」の欄

記入は不要です。

(5) 「商号又は名称」の欄

ア 法人事業者は、次表を参考に法人の種類を表す略号を記入してください。

法人の種類	略号	法人の種類	略号	法人の種類	略号
株式会社	(株)	協同組合	(同)	一般社団法人	(一社)
有限会社	(有)	協業組合	(業)	一般財団法人	(一財)
合資会社	(資)	企業組合	(企)	公益社団法人	(公社)
合名会社	(名)	有限責任事業組合	(責)	公益財団法人	(公財)
合同会社	(合)				

- イ 個人事業者は、本人の氏名以外の商号又は名称を使用している場合、商号又は名称を記入するとともに、その後に1文字分空けて、事業主の氏名も記入してください。
- ウ 「フリガナ」は、商号又は名称のかな読みをカタカナで記入してください。

(7)「代表者の職氏名」の欄

- ア 代表者の職氏名は、左詰めとし、職名と姓、姓と名の上に1文字分空けて記入してください。
- イ 代表者の氏名のフリガナは、左詰めとし、姓と名の上に1文字分空けてカタカナで記入してください。職名のフリガナは不要です。

(8)「主たる営業所」の欄

- ア「都道府県・市区郡町村名」の欄
都道府県名と市区郡町村名は、間を空けずに記入してください。
- イ「所在地」の欄
主たる営業所の所在地のうち、アの「都道府県・市区郡町村名」に続く所在地住所を登記事項証明書等に登録されているとおりに記入してください。
「丁目」、「番地」、「号」を「-（ハイフン）」等で省略しないでください。
- ウ「フリガナ」の欄
所在地のかな読みをカタカナで記入してください。
- エ「郵便番号」の欄
主たる営業所の所在地の郵便番号を記入してください。
- オ「電話番号」及び「FAX番号」の欄
次の例を参考に記入してください。
0XXX-XX-XXXX 0XX-XXX-XXXX

(9)「委任の有無」の欄

委任状を提出する場合は、「有」を選択（記入）してください。それ以外は、「無」を選択（記入）してください。

(10)「胎内市との防災協定締結の有無」の欄（市内業者のみ）

胎内市と災害時の応援業務に関する協定を締結している場合（協定を締結している団体に加盟している場合を含みます。）は、「有」を選択（記入）してください。それ以外は、「無」を選択（記入）してください。（「有」を選択（記入）した方は、協定書の写し又は協定を締結している団体への加盟証明の写しを添付してください。）

(11)「胎内市の消防団協力事業所の認定の有無」の欄（市内業者のみ）

胎内市の消防団協力事業所の認定を受けている場合は、「有」を選択（記入）してください。それ以外は、「無」を選択（記入）してください。（「有」を選択（記入）した方は、「胎内市消防団協力事業所表示証の交付について（通知）」の写しを添付してください。）

(12) 「建退共等加入の有無」の欄

「建設業退職金共済制度」、「中小企業退職金共済制度」又は「特定退職金共済制度」のいずれかに加入している方は「有」を、いずれにも加入していない方は、「無」を選択（記入）してください。（「有」を選択（記入）した方は、加入証明書等の写しを添付してください。）

(13) 「建災防協会加入の有無」の欄

建設業労働災害防止協会に加入している方は「有」を、加入していない方は「無」を選択（記入）してください。（「有」を選択（記入）した方は、加入証明書等の写しを添付してください。）

(14) 「入札参加を希望する建設工事の種類」の欄

入札参加を希望する建設工事について、その工種ごとの下欄に「○」を選択（記入）してください。この希望工種を基に資格審査を行います。

なお、希望した工種であっても総合評定値が算出されていない場合や過去3年の完成工事高を有していることが確認できない場合については、参加資格を認めません。

2. 営業所（主たる営業所を除く）一覧表【様式第2号】

この様式には、建設業法第3条第1項に規定する営業所（支店又は常時建設工事の請負契約を締結する事務所として建設業許可申請書別紙2に記載してある営業所）のうち、次に掲げる営業所を記入してください。（主たる営業所はここには記入しないでください。）

3以上の該当営業所があるときは、当該エクセルシートをコピーして作成してください。

該当する営業所がないときは、表題下の空白部分に「該当なし」と記入して提出してください。

建設業者の別	営業所の所在地	記入を求める営業所の範囲	営業所番号
新潟県内建設業者※ (※新潟県内に主たる営業所が所在する建設業者)	新潟県内に所在する営業所	建設業の許可を受けている営業所のうち、胎内市との建設工事の請負契約の事務処理（指名通知等を含む）について、主に相手方となる営業所	99
		建設業の許可を受けている営業所のうち、上記以外の営業所	01から順に付番

(1) 「業者番号」の欄

業者番号を記入してください。

(2) 「営業所番号」の欄

上記表の区分に従い、99又は01～を記入してください。

(3)「建設業の許可を受けている業種」の欄

記入する営業所ごとに、その営業所で建設業の許可を受けて営業している建設業の種類について、次のとおり記入してください。

ア 一般建設業許可を受けている建設業には「1」を記入してください。

イ 特定建設業許可を受けている建設業には「2」を記入してください。

(4)「営業所等の名称」の欄

当該営業所等の名称のみを記入してください。

(5)「営業所等の代表者の職氏名」、「営業所等の所在地」及び「連絡方法」の欄

「建設工事入札参加資格審査申請書【様式第1号】」の各関連記入方法を参考に記入してください。

(6)「頁数」の欄

001～の連番を記入してください。

3. 使用印鑑届出書【様式第3号】

この様式は、入札等に使用する委任状、入札書、契約書、請求書及びその他書類の代表者印に代表者の実印以外の印鑑を使用する場合に提出してください。

委任先が使用する印鑑は、この様式で届け出るのではなく、委任状に押印してください。

4. 指定工事の施工実績に関する書類【様式第4号】

(1)「業者番号」の欄

業者番号を記入してください。

(2)「施工実績」の欄

この表に掲げる工事（以下「指定工事」といいます。）について、該当する方のみ、次のとおり記入してください。

なお、該当する工事が複数ある場合は、その中から代表的なものを一つ選択して記入してください（4枚目を除く。）。

- ・記入の対象となる工事は、公共工事、民間工事のいずれでも構いませんが、発注者から直接請け負った工事（元請工事）でなければなりません。
- ・共同企業体（建設共同企業体）の構成員として施工した工事については、代表構成員として施工した工事のみを記入してください。
- ・記入の対象となる工事は、基準日（経営事項審査の審査基準日と同じ日です。）を含む事業年度から数えて過去15事業年度内に完成した工事としてください。（未完成工事及び当該期間前に施工した工事は対象になりません。）

ア「完成工事高」の欄

完成工事高は、消費税等込みの額とし、千円単位で記入してください。（千円未満の端

数がある場合は、これを切り捨ててください。) なお、共同企業体の代表構成員としての完成工事高は、共同企業体の出資比率によりあん分した額を記入してください。

イ「受注形態」の欄

指定工事の受注形態について、その工事を単独で請け負った場合は「単独」を、共同企業体（建設共同企業体）として請け負った場合は「JV」をそれぞれ○で囲んでください。

ウ「発注機関」の欄

指定工事の発注者を記入してください。(発注者が団体である場合は、その団体の名称を記入してください。)

エ「工事名又は施設名」の欄

指定工事の工事名を記入してください。

オ「工期」の欄

指定工事の着工年月と完成年月を次の例にならって、記入してください。
<例>令和2年5月から令和3年1月まで 「2/5~3/1」

カ「工事概要（工法、型式、規模等）」の欄

指定工事の種類ごとに、あらかじめ記載されている項目（工法、型式、規模等）について、記入してください。

5. 技術職員名簿【様式第5号】

建設業法第7条第2号イ、ロ若しくはハ又は同法第15条第2号イ、ロ若しくはハに該当する職員（以下「技術職員」といいます。）の氏名、生年月日及びその方が所有している資格の種類並びに建設業監理技術者資格者証に係る建設業の種類及びその交付番号について、作成基準日現在の状況で、次のとおり記入してください。

(1)「業者番号」の欄

業者番号を記入してください。

(2)「氏名」の欄

姓と名の間を1文字分空けて記入してください。

(3)「生年月日」の欄

ア 年号の欄

次のとおり、年号に対応した記号を記入してください。

昭和：「S」 平成：「H」

イ 年月日の欄

技術職員の生年月日について、次の例にならって、年、月、日をそれぞれ2桁で記入してください。

<例>昭和54年10月1日生まれの方の場合 「S541001」

(4)「有資格区分コード」の欄

技術職員が有する資格について、資格区分ごとに3ケタのコード番号を左詰めで記入してください。

(コード番号は、経営事項審査申請におけるコード番号と同じです。)

(5)「実務経験業種」の欄

「有資格区分コード」の欄に、「001」、「002」、「003」、「004」を記入された技術職員について、主に担当している建設業の種類を、2業種を限度として、別表「業種区分コード表」により、2桁のコード番号を記入してください。

(6)「監理技術者資格者証」の欄

技術職員のうち、建設業監理技術者資格者証の交付を受け、監理技術者講習を受講している技術職員に限り、次のとおり記入してください。

ア 「登録業種」の欄

建設業監理技術者資格者証に記載されている建設業の種類を、別表「業種区分コード表」により、該当する2桁のコード番号を記入してください。

イ 「交付番号」の欄

建設業監理技術者資格者証の交付番号を右詰めで、記入してください。

6. 委任状

入札・契約等に関する一切の権限を従たる営業所等に委任する場合に提出してください。参考様式を示しますので委任事項を加除修正の上、使用してください。なお、自社様式がある場合はその様式を使用させていただいてかまいませんが、参考様式に示す項目を満たすようにしてください。

受任者が使用する印鑑を「使用印」の欄に押印してください。社印も使用する場合は、当該枠内に併せて押印してください。

7. 暴力団等の排除に関する誓約書

この様式は、胎内市建設工事入札参加資格審査規程第2条第1項第6号から第12号までのいずれにも該当しないことを誓約する書面です。内容を確認の上、必要事項を記入し実印を押印してください。(代表者の生年月日の記入漏れがないようにしてください。)

8. 技術職員数等に関する書類

「土木一式」「建築一式」「電気」「管」のいずれかの工種について技術職員数の補正を希望する場合に提出してください。

この様式は、経営事項審査の審査基準日現在における状況で記入してください。

「土木一式」「建築一式」「電気」「管」の技術職員数

ア「補正」の欄

総合評定値通知書の技術職員数のままでよい場合・・・「0」（補正なし）

技術職員数の補正を希望する場合・・・・・・・・・・「1」（補正あり）※

イ「総合評定値通知書の技術職員数」の欄

総合評定値通知書に記載されている技術職員数について転記してください。

（希望しない工種については、転記不要）

ウ「補正後技術職員数」の欄

「補正」の欄で「1」を選択した場合、記入してください。

1人の技術職員が2以上の資格を有する場合、その資格ごとに、それぞれ1人として計上してください。

※「1」（補正あり）と記載した工種（「土木」「建築」「電気」「管」）の級別の記載人数は、次の「9. 技術職員数一覧」で対応する工種の「市での対応する級区分」の級別の合計人数と一致している必要があります。

9. 技術職員数一覧

「8. 技術職員数等に関する書類」において、補正欄に「1」（補正あり）を選択した場合のみ、次のとおり提出してください。

技術職員数一覧に記載した工種ごとの職員の資格者証等（実務経験を証明する必要がある場合は、建設業許可の実務経験証明書）の写しを添付してください。

※資格者証等は、同一の資格であっても工種ごとに提示し、どの工種に関するものか分かるように、付箋・インデックス等を付けてください。

(1) 「土木」技術職員数～「管」技術職員数の欄

資格名の欄に掲げる資格を有する技術職員の人数を、右詰めで記入してください。

(2) 技術職員の人数をカウントする場合は、以下の考え方により行ってください。

1人の技術職員が2以上の資格を有する場合、その資格ごとにそれぞれ1人としてカウントします。

ただし、記入の対象となるのは、経営事項審査の審査基準日現在の技術職員及びその時点で所有している資格に限ります。それ以降の職員の追加及び資格の取得等の変動は認められないことに注意してください。また、経営事項審査での技術職員で「その他」に区分される者のうち、市の取り扱いでは「2級」に区分されるものがあることに注意してください。

工種別（「土木一式」「建築一式」「電気」「管」）の「市での対応する級区分」の級別の合計人数は、「8. 技術職員数等に関する書類」の対応する工種の「補正後技術職員数」欄の級別の記載人数と一致していることが必要です。

- ア 1つの工種内で、1級相当及び2級相当の複数の資格を持つ職員は、1級相当の資格でカウントします。
- イ 1つの工種内で、同等（1級相当同士、2級相当同士）の複数の資格を持つ職員は、カウントする資格は1つまでとする。
- ウ 複数の工種に該当する資格を持っている職員は、全ての工種においてカウントでき、カウントできる工種の数に制限はない。

別表 業種区分コード表

建設工事の種類	建設業の種類	略号	コード
土木一式工事	土木工事業	(土)	01
建築一式工事	建築工事業	(建)	02
大工工事	大工工事業	(大)	03
左官工事	左官工事業	(左)	04
とび・土工・コンクリート工事	とび・土工工事業	(と)	05
石工事	石工事業	(石)	06
屋根工事	屋根工事業	(屋)	07
電気工事	電気工事業	(電)	08
管工事	管工事業	(管)	09
タイル・れんが・ブロック工事	タイル・れんが・ブロック工事業	(タ)	10
鋼構造物工事	鋼構造物工事業	(鋼)	11
鉄筋工事	鉄筋工事業	(筋)	12
舗装工事	舗装工事業	(舗)	13
しゅんせつ工事	しゅんせつ工事業	(しゅ)	14
板金工事	板金工事業	(板)	15
ガラス工事	ガラス工事業	(ガ)	16
塗装工事	塗装工事業	(塗)	17
防水工事	防水工事業	(防)	18
内装仕上工事	内装仕上工事業	(内)	19
機械器具設置工事	機械器具設置工事業	(機)	20
熱絶縁工事	熱絶縁工事業	(絶)	21
電気通信工事	電気通信工事業	(通)	22
造園工事	造園工事業	(園)	23
さく井工事	さく井工事業	(井)	24
建具工事	建具工事業	(具)	25
水道施設工事	水道施設工事業	(水)	26
消防施設工事	消防施設工事業	(消)	27
清掃施設工事	清掃施設工事業	(清)	28
解体工事	解体工事業	(解)	29